

**令和3年度（2021年度）
社会福祉法人紫苑の会 法人本部
事業報告書（案）**

令和3（2021）年度は、第二次中期計画に基づき、本部事業計画として以下の3点に重点を置き事業を推進しましたので報告します。

1. 経営基盤の安定化
2. 雇用の安定化と人材育成
3. 利用者支援の充実

はじめに

令和3年度は前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大により社会全体が大きな影響を受けた年でした。紫苑の会では、職員4名と利用者さん4名に新型コロナ陽性の方が出来ましたが、施設内でクラスターが発生することはありませんでした。感染された職員および利用者さんも現在は無事復帰されています。このことは、施設、法人が一丸となって、感染予防に努めてきた結果と言えます。

ワクチン接種は、令和3年8月6日（金）と令和4年2月10日（木）に、それぞれ2回目と3回目の集団ワクチン接種を利用者および職員（いずれも希望者）全員が終えました。

令和4年度についても、これまで同様、法人として感染予防に取り組んで参ります。

1. 経営基盤の安定化

令和3年度の法人全体の収支は、前年度より大幅に黒字化することができました。理由として、以下の助成・寄付（自治体・団体及び個人）を受けられたことが大きな要因として挙げられます。

- ①雇用調整助成金・緊急雇用安定助成金の支給
- ②町田市感染者対応支援事業補助金の支給
- ③馬主協会助成
- ④出光美術財団助成
- ⑤松の花財団助成
- ⑥個人会員からの寄付（1名）

上記の総額は約700万円となります。うち、600万円を人件費積立金とし、残り100万円は設備整備積立とさせていただきたいと思います。

結果として次年度以降のための積立を行うことができましたが、法人として状況に甘んじることなく、今後も法人の経営基盤の安定化のために、取り組むべき課題に取り組んで参ります。（残業の削減、労働の効率化、給与体系の見直し等）

2. 雇用の安定と人材育成

令和3年度、法人全体の新規入職者は12名（いずれも有期契約職員）、嘱託から正規への昇格者は4名、退職者は5名（正規職員2名、有期契約職員3名）でした。離職率は正規職員9%、

有期契約職員 8 %と、どちらも低い水準に止まっています。このことは、退職する職員が少なく、人材がある程度安定化したと言えます。一方雇用については、新しい人材、特に男性の人材の確保が難しく、今後の課題となっています。

3. ご利用者支援の充実

①研修委員会および虐待防止委員会の発足

今年度は、新たに「研修委員会」と「虐待防止委員会」をスタートしました。

これまで、法人では、法人主催の内部研修について、理事長主導で運営会議で話し合って決めていましたが、今年度からは、「研修委員会」として独立させて話し合いを行っています。

また、「虐待防止委員会」は、法人内で虐待またはその疑いのある案件について洗い出し、検証し、再発防止について検討するための委員会としてスタートしました。昨年度またはそれ以前に発生した人権侵害、もしくはそれに該当すると思われる案件についても検証しています。

②相談支援事業

相談支援センター シオンでは、7月から新たに職員1名（有期契約職員）を増員して、支援の拡充に努めています。それまでは、管理者1名のみでしたが、4月から理事長職との兼務のため、相談支援に割ける時間が少なく、モニタリング等が出来ていませんでした。新職員は経験豊かなベテラン職員で、週1回の勤務ですが、動きのあるケースを中心として、ご本人、ご家族との面談やモニタリングを行っています。

4. その他

①人材の確保、定着

大手求人媒体の活用、チラシのポスティング、カフェの窓および玄関掲示板の張り紙、さらに職員の紹介を通じて人材を確保することができました。また、9月に開催された「福祉フェア」を通じて採用に繋がった職員もいます。法人として。これまで行ってこなかった新卒者を採用するために、複数の大学に求人票を出しましたが、残念ながら応募がありませんでした。正規職員及び若手職員の確保については今後の課題となっています。

②第二次中期計画について

平成30年（2018年）度に策定した第二次中期計画は、平成31年（2019年）1月からスタートし、令和2年（2020年）度末で、2年が経過しました。計画していた事業のうち、「相談支援事業」はスタートさせることができましたが、「男性グループホーム」や「児童に関する事業」は実施できません。（ただし、「障害児相談支援事業」は少人数ですが、スタートしました。）来年度は、次の5か年計画を視野に入れて、現行計画の見直しを進めていきたいと考えています。

③地域との交流

例年開催している「シャロームまつり」、また、後援会主催の「歌声ひろば」は、新型コロナウィルスの影響で昨年同様、中止としました。

また、地域の方々との接点になっている「パン工房シャローム」も、営業を見合わせていますが、令和4年度中には再開させたいと考えています。

南第3小学校で定期開催されてきた「青少年育成南第三地区委員会」は全て書面開催、書面決議となりました。

。